

# JEF 馬場馬術競技 A5課目 2013

時間 3'45''(参考時間) 馬場 20m×40m

競技会名	日付	審判員名	審判員位置
------	----	------	-------

出番順	競技者名	所属	馬名
-----	------	----	----

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	<b>A</b> <b>X</b> 収縮速歩で入場 停止—不動—敬礼 収縮速歩で発進	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
2.	<b>C</b> <b>E</b> <b>EKAFB</b> 左手前蹄跡に入る 左へ直径10mの巻乗り 収縮速歩	10					速歩の質 屈曲、巻乗りの大きさと図形	
3.	<b>BX</b> <b>FAK</b> 左へ直径10mの半輪乗り、Fに向かって進む 収縮速歩	10					屈曲、半輪乗りの大きさと図形	
4.	<b>KXM</b> <b>MCH</b> 中間速歩 収縮速歩	10					速歩の整正、柔軟性 歩幅とフレームの伸展	
5.	収縮速歩から中間速歩と 中間速歩から収縮速歩への移行	10					明確でスムーズな移行	
6.	<b>H</b> <b>E</b> 中間常歩 左へ回転	10					速歩から常歩への移行 整正、真直性、常歩の質	
7.	<b>X</b> 停止 3〜4歩後退 直ちに中間常歩で発進	10					停止、後退の質 スムーズな移行	
8.	<b>B</b> 右へ回転	10					整正、常歩の質	
9.	<b>F</b> 右収縮駢歩で発進	10					明確でスムーズな移行 駢歩の質	
10.	<b>FAKEH</b> <b>HG</b> 収縮駢歩 右へ直径10mの半輪乗り、Eに向かって進む	10					駢歩の整正 屈曲、半輪乗りの大きさと図形 セルフキャリッジ、バランス	
11.	<b>EKA</b> <b>A</b> <b>AF</b> 反対駢歩 シンプルチェンジ 収縮駢歩	10			2		反対駢歩の質、セルフキャリッジ、バランス、 明確でスムーズな移行、3〜5歩の 質の良い常歩、真直性、駢歩の整正	
12.	<b>FE</b> <b>EHC</b> <b>C</b> <b>CM</b> 収縮駢歩 反対駢歩 シンプルチェンジ 収縮駢歩	10			2		反対駢歩の質、セルフキャリッジ、バランス、 明確でスムーズな移行、3〜5歩の 質の良い常歩、駢歩の整正	
13.	<b>MF</b> <b>FA</b> 中間駢歩 収縮駢歩	10					歩幅とフレームの伸展	
14.	収縮駢歩から中間駢歩と 中間駢歩から収縮駢歩への移行	10					明確でスムーズな移行	

# JEF 馬場馬術競技 A5課目 2013

出番順 競技者名 所属 馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
15.	<b>A</b> 尋常速歩 <b>AKEB</b> 尋常速歩 <b>E-B</b> 半輪乗り(直径20m) その際、E-B上で手綱を伸ばし(ストレッチ動作)、 B-F上で手綱を元へ戻す <b>BFA</b> 尋常速歩	10					速歩の整正 整正、バランス リラクゼーション 明確でスムーズな移行	
16.	<b>A</b> 中央線上に入る <b>G</b> 停止-不動-敬礼	10					ペース、停止、移行の質 真直性 コンタクトと項の位置	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		180						

※ストレッチ動作においては、頭頸は前下方へ伸展し、馬の口角の高さは肩先(肩関節)と同じくらいの高さにある。

## 総合観察

- ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
- インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後軀のエンゲイジメント)
- 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
- 騎手の姿勢、騎座:正確かつ有効な扶助

合計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			2		
10			2		
240					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
計					
					最終得点率%:

## 得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条6.1を参照

1回目 = 2点減

2回目 = 4点減

3回目 = 失権

その他の違反は1回ごとに2点減  
430条6.2を参照

審判員署名

JEF 2013年4月1日施行  
JEF 2014年4月1日改定